



FAMILY OF EXCELLENCE Gulfstream



世界で活躍する多くの方々から選ばれているビジネスジェット、それがガルフストリームです。2012年には新たな The World StandardとしてGulfstream G650が世界の空に登場します。常に進化し続けるビジネスジェット ガルフストリームを手に入れること、それは世界中でビジネスを展開する人々にとって価値ある選択といえるでしょう。丸紅エアロスペースでは、ご購入・チャーター・整備・格納を含めビジネスジェットに関するあらゆるサポートをいたします。

丸紅エアロスペース株式会社
Marubeni Aerospace Corporation

Gulfstream
A GENERAL DYNAMICS COMPANY

〒100-8088 東京都千代田区大手町1丁目4番2号 Tel: 03-5220-7703 Email: Gulfstream@asp.marubeni.co.jp www.gulfstream.jp

各社サービスの充実

バラエティ豊かなサービス。ビジネス航空業界の成長。

ITCグループ

機材の販売・リースなど、独自のノウハウを提供している。昨年は「より速く、より安く、より快適に」を追求した全く新しいビジネスジェットOutrigger G650の開発を発表し、順調な受注数を伸ばしている。今年後半には初飛行の予定だ。丸紅エアロスペースでは、導入前の機種選定と運航形態などのコンサルティングからガルフストリームシリーズの機材販売、中古機購入代行まで、幅広いサービスを展開している。さらに、日々のフライトに必要な離着陸許可取得や機内食手配などの運航管理のサポートや、チャーターサービスも行っており、気軽にビジネスジェットを利用できるような多面的なサポートが可能だ。また、インフラ整備が日本におけるビジネス機普及の大きな鍵になると考えられることから、関係各社との連携を強化して、格納場所の確保、整備サービスを提供するなど、利用者の利便性向上にも取り組んでいる。

また、機材のオペレーター・リース事業では、買主が買主のリスクで残存価値を設定し、リース契約により物件価格の全額を回収しないリース方式を採用。リース期間満了後に物件を中古市場で売却し、投資資金の回収を計ることが出来る。また、ビジネス機のオーナーから機材を借り、運航費を統括・管理している。オーナーは機材の空き時間を第三者にチャーター提供することで、チャーター運用益の還元を受けられ、機材運賃管理費用を低減できるというメリットもある。

丸紅エアロスペースは、ビジネスジェットを広く日本に普及させるべく、関連するあらゆるサービスを行っている。同社が販売総代理店を務める米国Gulfstream社は、ビジネスジェット専門メーカーとして中から大型のビジネスジェットを製造し

エクセル航空

手頃な価格で最新鋭機のチャーターが可能。エクセル航空は、航空機を単なる移動手段ではなく、移動時間を最大限に有効活用することによってビジネスを成功に導くビジネスツールとして位置付け、利用者の満足度を高める様々なサービスを提供している。

同社の主力機である最新鋭機ガルフストリームG550は、東京・欧米間をノンストップで飛行できる機体性能を誇り、その洗練されたインテリアや高い居住性は世界のエクゼクティブから認められ、ビジネスジエットの最高峰として位置付けられている。また、経験豊富な日本人乗務員が一流のサービスを提供し、世界を舞台に活躍するエクゼクティブのビジネスをサポートしている。

費用に際して、例えば日本から米国の複数都市を1R業務などで短期間チャーターした場合の価格は、飛行時間によって変動するが、およそ三千万円。十名で利用した場合の一人当たりの利用料金は、エアラインのファーストクラスの1.5〜2倍程度に過ぎないことが可能となる。一日に複数都市を訪問する場合などは、移動中に会議内容の打合せができるなど、ビジネス機のメリットを最大限に活用できれば決して高い買い物ではないはずだ。

日本エアロスペース

日本エアロスペースは、一九五一年からセスナ社の販売代理店として、約七百機のセスナを輸入販売してきた。セスナ社製プロペラ機は、国内では約五〇％のシェアがある。ビジネス利用を中心とした小型ジェット機の分野でもセスナ・サティションシリーズが飛躍的にシェアを伸ばしている。

同社が行っているビジネスジェットは「空をレンタルする」。いつでも好きな時間に好きな場所に飛び立つことが可能なプライベートジェットのレンタルサービスを中心に、フライトスケジュールのプランニングから乗務員や食料の手配までも含め、きめ細かなサービスを実施している。

プライベートジェットの利用には、搭乗や出入国などの各種手続きを専用のターミナルで行う必要があるため、時間ロスや煩わしさが一切なく、ゆとりがフライトが可能になる。また、エチケットとは違い、フライトのスケジュールに合わせてビジネススケジュールを合わせる必要はなく、ビジネスやレジャーのスケジュールに合わせたフライトプランニングが可能になる。日本エアロスペースでは、こうした時間の価値を提供できるようにサポートしている。

広告



Cessna

A Textron Company

JAPAN AEROSPACE 日本エアロスペース株式会社 〒107-0062 東京都港区南青山2-5-17 TEL:03-5785-5963 FAX:03-5785-5964 <http://www.j-aero.co.jp/>



フランス EADS ソカタ社 《TBM850、他機種》

6人乗りで世界最速、単発タービン機。ビジネス機として高い評価を受けている。最大巡航速度: 592Km/H 最大航続距離: 2813Km 積載量: 603Kg 離陸距離: 866m 着陸距離: 741m

- 現在、世界的に高い評価を受けております以下4社のタービン機及びヘリコプターの日本輸入販売代理店です。
- 事業用、更には自家用航空機の導入に際しては、いつでも専門的アドバイスをさせていただきます。

●ピラタス・エアクラフト ●プリテン・ノーマン ●エリクソン ●EADS ソカタ 販売代理店

事業内容

- ・航空機・ヘリコプターの輸出入・販売
- ・航空機のおペレーティングリース
- ・旅客・貨物機の機体管理、G/H
- ・ビジネスジェットの運航及びチャーター事業

スイス ピラタス・エアクラフト社 《PC-12》

12人乗り多目的、高性能タービン単発機。国内及び海外移動に最適なビジネス機。最大巡航速度: 494Km/H 航続距離: 3320Km 積載量: 1197Kg 離陸距離: 808m 着陸距離: 558m



- 頭金20%~30%保証金にて、ご希望の機体(どの様な機種でも)をオペリースにてお引き渡しが可能です。
- お手持ちの機体の売却及び査定など航空機に関することならなんでもご相談下さい。

航空機業界で26年の実績と信頼

(株) アイ・ティー・シー・エアロスペース
(有) アイ・ティー・シー・リーシング

〒104-0033 東京都中央区新川1-3-2ナックスビル7階
Tel: 03-3555-3621 HP: www.itca.co.jp; www.aurora-air.jp

日本初の本格的なビジネス機の拠点空港

県営名古屋空港



十分な発着枠、駐機スポット

名古屋空港にはビジネス機のための十分な発着枠があります。また駐機スペースも十分です。駐機時間にも制限がなく、国際会議やイベントが開催されている間多くのジェット機を駐機させておくことも可能です。

ビジネス機ターミナル 高いプライバシーとセキュリティ

名古屋空港では一般旅客とは別のビジネス機利用者専用ターミナルを用意し、旅客のプライバシーを守り、高いセキュリティを確保しています。

スピーディーなCIQ審査

ビジネス機専用ターミナル内では、国際ビジネス機で到着するお客様に対して、税関、入管、検疫(CIQ)検査が流れるようにひとつの部屋で行われます。このような税関、入管、検疫手続きは日本で初の試みです。(CIQ審査は、3日前の申請で受けることができます。)

短い旅客の移動経路

ビジネス機専用ターミナルはビジネス機用スポットに隣接しており、駐車場もターミナル出入口のすぐ目の前にあるため、駐機スポットからわずか100メートル(328フィート)で迎える車に乗り込むことができます。

ロケーション・アクセス

名古屋空港は名古屋大都市圏の恵まれた都市交通網の中にあり移動も大変便利です。名古屋空港から高速道路を利用すれば名古屋中心部まで約15分です。また豊田市など周辺主要都市への移動も大変便利です。

名古屋は目的地としても日本各地への中継点としても最適な場所に位置しています。

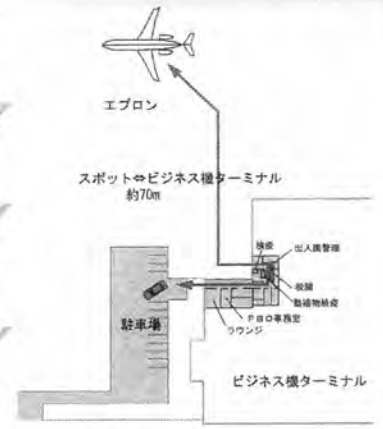
東京-名古屋 所要時間 距離約370km 約1時間40分

京都-名古屋 所要時間 距離約150km 約35分

大阪-名古屋 所要時間 距離約190km 約50分

※新幹線を利用した場合です

県営名古屋空港 愛知県地域振興部航空対策課 〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 電話 052-954-6131 FAX 052-961-3247



空港発着枠確保と施設整備で需要を喚起

ビジネスジェット

日本におけるビジネスジェット各社はサービスの充実を図り、利用者の一層の獲得を狙っている。また、国土交通省は「ビジネスジェット利用促進の調査報告」を発表し、ビジネス航空の利用促進を進める方向性を示すなど、業界にとってはこれまでなかった環境が整いつつある。同時に空港側の整備も着々と進み、首都圏はもちろん、各地方空港の体制も整ってきた。まさに、官民一体となった動きが出てきている。

ビジネス拠点の首都圏で、空港整備が急務。

二〇〇八年秋、アメリカに拠点を移した金融機関が起ころし、一時「プライベートジェット」がバッシングを受け、しかし欧米では、ビジネスジェットがビジネスツールとして日常的に利用されていることに変わりはない。決して驚異品ではないという認識だ。ビジネスジェットを有効的に活用し、ビジネスのグローバル化に貢献する立役者として位置づけられる傾向は、変わらぬ強いと言って良いだろう。

海外では、ビジネスツールとしてビジネスジェットの利用が急速に進化したのに対し、日本においては普及が格上にある原因はいろいろある。日本寄港の際の手続きの不明確さ、日本の航空制度がビジネスジェットに適した制度ではない、「既存空港に適した専用施設が希薄」、「地上運航支援サービスが受けにくい」、「首都圏における受け入れ可能な空港が少ない」などの問題点が具体的課題として浮き彫りされてきた。これらの問題を解決していくには、どのような施策が必要か。それは、日本のビジネスジェットの明日を担う四つのFに集約される。①Facility(施設)の改善。②Fleet(機隊)の充実。③Funding(資金)の確保。④Field(基地)の整備。これらが揃えば、ビジネス航空の発展が期待できる。

このような内容を総合して考えると、首都圏空港の整備が急務であることは間違いない。日本の主要都市空港の多くは、欧米のようにビジネスジェットが自由に利用できなかったが、近年、首都圏空港や地方の大都市空港においてビジネスジェットの運用が認められる体制が整いつつある。今年一月には、日本ビジネス航空協会が成田空港の総発着枠の約一割程度の割当を申し入れたことも、国際発着枠の乗りの高さによって認められる可能性の高い五・七トン以下の機材の乗り入れ制限の撤廃を要請した。また、横田、厚木、木更津基地などの民間共用化への動きは、発着枠確保への様々なアプローチが活発化している。

県営名古屋空港に駐機するビジネス機

一方、空港に目を向ける。その動きも以前とは変わってきている。中部国際空港は、二十四時間運用空港として、深夜帯の離発着が可能だ。また、ビジネスジェット用格納庫を新設し、中部地区の受け入れ体制強化を図る意向としている。四〇トンクラスの中型機材を五機分程度格納できるもので、九月から低用可能予定だ。

中部地区では、県営名古屋空港がビジネスジェットの運用体制を整えていく。十分な発着枠と駐機スペースを持つことで、ビジネス機専用ターミナルで国際ビジネス機向けCIQ審査が実現される。

地方空港の有効利用による地方活性化。地方空港がビジネス機を誘致する理由は他にもある。臨空地域への企業・工場誘致が活発化するからだ。特に、自動車産業同様裾野が広いとされる航空宇宙産業を手掛ける企業誘致が熱を帯びていることが予想される。

さらに、航空自由化(アジア・オーストラリア)に向けた航空政策の転換により、ビジネスジェットの利用拡大が進むと期待されている。地方空港の活性化は、産業のグローバル化、多面的な拡大が期待できる。

このような内容を総合して考えると、首都圏空港の整備が急務であることは間違いない。日本の主要都市空港の多くは、欧米のようにビジネスジェットが自由に利用できなかったが、近年、首都圏空港や地方の大都市空港においてビジネスジェットの運用が認められる体制が整いつつある。今年一月には、日本ビジネス航空協会が成田空港の総発着枠の約一割程度の割当を申し入れたことも、国際発着枠の乗りの高さによって認められる可能性の高い五・七トン以下の機材の乗り入れ制限の撤廃を要請した。また、横田、厚木、木更津基地などの民間共用化への動きは、発着枠確保への様々なアプローチが活発化している。

県営名古屋空港に駐機するビジネス機

一方、空港に目を向ける。その動きも以前とは変わってきている。中部国際空港は、二十四時間運用空港として、深夜帯の離発着が可能だ。また、ビジネスジェット用格納庫を新設し、中部地区の受け入れ体制強化を図る意向としている。四〇トンクラスの中型機材を五機分程度格納できるもので、九月から低用可能予定だ。

中部地区では、県営名古屋空港がビジネスジェットの運用体制を整えていく。十分な発着枠と駐機スペースを持つことで、ビジネス機専用ターミナルで国際ビジネス機向けCIQ審査が実現される。

地方空港の有効利用による地方活性化。地方空港がビジネス機を誘致する理由は他にもある。臨空地域への企業・工場誘致が活発化するからだ。特に、自動車産業同様裾野が広いとされる航空宇宙産業を手掛ける企業誘致が熱を帯びていることが予想される。

さらに、航空自由化(アジア・オーストラリア)に向けた航空政策の転換により、ビジネスジェットの利用拡大が進むと期待されている。地方空港の活性化は、産業のグローバル化、多面的な拡大が期待できる。



ビジネスの新たな価値を生む プライベート・チャーター



Gulfstream社の最先端技術を結集したG550機。

エクセル航空は、最高級ビジネスジェット機のチャーターを提供しています。定期エアラインの就航がない地域へも直接乗り入れ可能なビジネスジェットは、まさに世界各地の都市を点と点で結ぶビジネスには欠かせないツールです。お客様のビジネススケジュールに合わせたフライトプラン、スピーディな出入国手続き、世界最高品質のつづぎとおもてなし、テロやハイジャックのリスクを回避するセキュリティ等により、お客様のビジネス効果を最大限に高めることが可能となります。ガルフストリームG550機をはじめ、お客様のご旅行に合わせた各種機材のご手配が可能です。また海外発のチャーター手配も行っております。お気軽にお問合せ下さい。



VIP機シコルスキー-S-76C



客室内

エクセル航空株式会社
ビジネスジェット事業部 〒279-0012 千葉県浦安市入船1-5-2 新浦安センタービルディング4階 Tel. 047-380-5229 Fax. 047-390-6500

E-mail: charter@excel-air.com
www.excel-air.com/